

11 月 7 日：VN 指数は寄り付き後に“トランプトレード”の様相 (VN-Index -0.12%)

- 昨夜の米大統領選のトランプ氏の勝利宣言から続く米国市場の活況のまま、VN 指数も活発な取引の中で上昇して開始した。
- 情報技術、石油・ガスセクターが市場をけん引した一方で、小売セクターには売りが広がった。
- 後場に入ると前場の盛り上がりは薄れ、引けにかけて徐々に下落した。前日終値を下回ったところで大引けとなった。
- 小売セクターが引き続き重しとなった。メディアセクターなどのいくつかの小規模なセクターがそれを支え切れなかった。
- 165 銘柄が上昇、193 銘柄が下落、74 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 12.1%下落し、12.5 兆ドンとなった。

VN30 指数も引けにかけて下落(VN-30 -0.22%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、5 銘柄が上昇し、20 銘柄が下落。5 銘柄が変わらずとなった。
- MSN (-1.21%)、GVR (-1.19%)が上位下落 2 銘柄であった。
- PLX (+0.37%)、FPT (+0.37%)など上昇した 5 銘柄はどれも小幅高であった。

セクター・個別株の動き

- VTP (+6.91%)は中国との国境近くであるランソン地方のロジスティクスパークへの投資を通じて ASEAN 諸国との流通経路を拡充するとのニュースが好感されてストップ高を記録した。
- MSCI は本日、VPB (-0.76%)、DBC (+0.18%)の 2 銘柄を今月 29 日より MSCI 新興国指数に組み入れることを明らかにした。これにより同指数のベトナム株式の構成比率は 25.0%に増加する。

- 外国人投資家は 1 日を通して 3,900 億ドルを売り越した。売り越しは引き続き VHM (-0.36%) に集中した一方、MWG (-0.30%)、STB (+0.28%)には小幅な買い越しが入った。
-

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。